

サステナビリティ経営におけるリスクと機会の認識とマテリアリティ

Daigasグループは、「中期経営計画2026」策定時に、事業環境の変化と新たな課題を認識し、マテリアリティの見直しを行いました。

リスクと機会の認識

事業環境の変化と課題認識	リスク	機会	マテリアリティ
気候変動 ▶ 脱炭素潮流の加速 ▶ トランジションエネルギーとして天然ガスの位置づけの高まり ▶ CO₂削減 ▶ エネルギーシステムの転換 ▶ 技術革新 ▶ TNFDへの対応	・カーボンニュートラルにかかわる国際的なルールや規制による事業計画への影響 ・事業適地確保・競争の激化	・天然ガスのグローバルでの普及拡大・高度利用の推進 ・e-メタン・水素など新エネルギー開発 ・既存機器・インフラを活用したシームレスなエネルギーのカーボンニュートラル化事業の推進 ・カーボンニュートラル関連技術・サービスの開発	エネルギーのカーボンニュートラル化
エネルギーセキュリティ ▶ 地政学的なリスクの高まりへの備え ▶ エネルギー製造・供給設備の安全・安心な管理・運用	・燃料・資材等の調達の困難化 ・自然災害に伴う設備修繕や対策費の増加 ・災害・事故による供給支障	・災害に強いインフラ形成・商品開発による需要の拡大 ・地域との災害対策ノウハウの共有と連携による持続可能な事業基盤を継続	お客さまと社会のレジリエンス向上
価値観の多様化 ▶ デジタル社会への移行 ▶ 多様な手法によるお客さまとの接点創出	・お客さまの意識の変化 ・DX推進の遅延 ・既存ビジネスモデルの陳腐化 ・生産性向上・新規参入等による競争の激化	・DX推進による業務効率化と生産性向上 ・業務改革・行動変容による新規ビジネス創出力の強化 ・新規事業、新サービス創出への組織風土・体制の強化	お客さまの価値観に寄り添う先進的で多様なソリューションの共創
人口構造の変化 ▶ 事業の多軸・多様化 ▶ 人材不足、労働観の多様化 ▶ 人材育成 ▶ 従業員のやりがい・やる気向上	・業務の担い手不足 ・次世代の確保・育成への対策増加	・多様な人材活用によるイノベーション推進 ・アウトプットの最大化	従業員と企業が共鳴し高め合う環境づくり
サステナビリティ経営への関心・要請の高まり ▶ コーポレート・ガバナンス ▶ コンプライアンスの徹底 ▶ 人権デュー・ディリジェンス ▶ 循環型社会の形成 ▶ 地域社会への貢献 ▶ サプライチェーン・マネジメント	・法令・規制の強化・改廃 ・ステークホルダーからの信頼失墜 ・訴訟や取引停止等による事業継続への支障 ・資金調達の難化	・コーポレート・ガバナンスの強化 ・コンプライアンスの強化 ・地域社会の発展によるグループ事業収益の安定化	健全でしなやかな経営基盤の維持・向上